

## 情報公開文書

第1版 2025年3月17日作成

大阪医科大学救急医学では以下の研究を実施しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究の名称	生成AI入力支援システムを活用した病院外心停止に対する包括的治療体制の構築に関する研究
2. 倫理審査と許可	京都大学大学院医学研究科・医学部及び医学部附属病院 医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施しています。
3. 研究機関の名称・研究責任者の氏名	<研究代表機関>京都大学 研究責任者：大阪医科大学 救急医学 准教授 山川 一馬（やまかわ かずま）
4. 研究の目的・意義	院外心停止例の搬送先病院の治療体制、搬送後の集中治療内容を包括したコホートを確立し、院外心停止例の社会復帰率向上に寄与する適切な搬送先選定基準および治療ストラテジを検討することです。
5. 研究実施期間	研究機関の長の実施許可日から2028年5月31日まで
6. 対象となる試料・情報の取得期間	研究機関の長の実施許可日から2027年5月31日の間に日本全域で発生し、救急隊が蘇生処置を実施し、大阪警察病院および大阪医科大学病院に搬送された院外心停止の患者様を対象といたします。
7. 試料・情報の利用目的・利用方法	大阪警察病院および大阪医科大学病院に搬送された全ての院外心停止症例を登録し、その診療記録を、生成AI入力支援システムを用いて、日本救急医学会 院外心停止例救命のための効果的救急医療体制・治療ストラテジの構築に関する学会主導研究推進特別委員会に提出します。そのデータを京都大学内の研究事務局に提供してデータベースします。
8. 利用または提供する試料・情報の項目	1 基本情報登録 <病院情報>都道府県、病床数(集中治療室(ICU)病床数、小児集中治療室(PICU)病床数)、救急病院種別、スタッフ数(医師、看護師)、専門医種別 <患者情報>性別、年齢、救急隊時刻情報(覚知時刻、病院収

	<p>容時刻)、適格基準</p> <p>2 ウツタイン(病院前救護)記録</p> <p>救命救急士乗車、医師同乗、普段の生活状態、心肺停止の目撃、発生場所、居合わせた人(バイスタンダー)による心肺蘇生、市民による除細動、救急隊時間経過(覚知時刻、現場到着時刻、患者接觸時刻、隊員による心肺蘇生開始時刻、病院収容時刻)、救急隊到着時の状態、救急隊等活動中の医師による2次救命処置、救急隊到着時の最初の心電図波形、除細動、最終気道確保器具、静脈路確保、エピネフリン投与、病院収容前の心拍再開</p> <p>3 病院到着後記録</p> <p>病院収容時刻、ドクターカー・ヘリ出場、病院収容後の最初の心電図波形、12誘導心電図、中枢温度、身長・体重、病院収容後処置(除細動、気管挿管、体外循環、補助循環、心血管カテーテル検査、心血管ステント留置、低体温療法)、心停止中薬剤使用、患者背景、血液データなど通常の診療範囲内で行う診察や検査の結果、CPAに至った原因、病院搬入後の状態、積極的治療中止の有無とその原因、発症1ヵ月後生存、発症90日後生存、発症1ヵ月後の脳機能、発症90日後の脳機能</p>
9. 利用または提供を開始する予定日	研究機関の長の実施許可日以降に利用開始します。
10. 当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称および研究責任者の職名・氏名	<p>&lt;共同研究機関&gt;</p> <p>大阪警察病院救命救急科：副部長 山田知輝</p> <p>大阪医科大学救急医学教室：准教授 山川一馬</p> <p>大阪大学医学部附属病院高度救命救急センター：中尾俊一郎</p>
11. 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名または名称	石見 拓、京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康要因学講座予防医療学、教授
12. 研究対象者またはその代理人の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用または他の研究機関への提供を停止すること及びその方法	ご自身の情報を研究に利用されたくない方は、連絡先までその旨お知らせ頂ければ、解析対象から削除します。

13. 他の研究対象者等の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内での研究に関する資料の入手・閲覧する方法	他の研究対象者等の個人情報及び知的財産に支障がない範囲で研究に関する資料の入手・閲覧が可能です。希望される方は、問合せ窓口までお知らせください。
14. 研究資金・利益相反	<p>1) 研究資金の種類および提供者</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 文部科学省科学研究費補助金 2022-2026 年度 基盤研究 (B) 「救命後の生活の質や患者・家族の意思を尊重した院外心停止治療戦略の構築に関する研究」研究代表者：京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻健康要因学講座予防医療学 教授 石見 拓</li> <li>• 日本救急医学会学会主導研究として学会からの資金供出(データ管理のためのサーバー代)</li> </ul> <p>2) 提供者と研究者との関係</p> <p>資金提供者は、研究の企画、運営、解析、論文執筆に関与しません。</p> <p>3) 利益相反</p> <p>利益相反について、京都大学利益相反ポリシー、京都大学利益相反マネジメント規程に従い、京都大学臨床研究利益相反審査委員会において適切に審査しています。共同研究機関においても各機関の規程に従い審査されています。</p>
15. 研究対象者等からの相談への対応	<p>1) 研究課題ごとの相談窓口</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• JAAM 多施設共同院外心停止レジストリの HP 上で受付 URL: <a href="http://www.jaamohca-web.com/">http://www.jaamohca-web.com/</a></li> <li>• 代表機関の相談窓口 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻健康要因学講座 予防医療学 石見 拓・木口 雄之 連絡先 <a href="tel:075-753-4400">TEL:075-753-4400</a> E-mail:kiguchi.takeyuki.7s@kyoto-u.ac.jp</li> </ul> <p>2) 各研究機関における相談等窓口</p> <p>大阪医科大学 救急医学 准教授 山川一馬 (やまかわ かずま) TEL:072-683-1221 (代表) E-mail:kazuma.yamakawa@ompu.ac.jp</p>

